

第87期 中間事業報告書

2014年4月1日から2014年9月30日まで



KOA株式会社



KOAからのメッセージ

私たちは、「循環・有限・調和・豊かさ」を
企業経営の価値観に置いています。



創業のビジョン 「農工一体」と「伊那谷に太陽を」

KOAは、かつて農村というコミュニティが崩壊していく中で、ひとりの青年が農村の生活基盤づくりと安定した暮らしをこの地で実現しようと興した会社です。以来、創業者の「伊那谷に太陽を」という夢をかなえるために、「農工一体」というビジョンをめざし、経営が実践されてきました。お百姓がお百姓として暮らしていける環境をつくる、それが創業当時の時代の声でした。

企業ミッション KOAを支える「5つの主体」との 信頼関係構築

そうした先人の意志を引き継ぎ、また今の時代の声に耳を傾けたとき、KOAは、株主様、お客様・お取引先様、地域社会、社員・家族、地球との信頼関係の構築に努めることを企業のミッションといたしました。KOAの経営は株主様をはじめとして、皆様とのお縁に恵まれ、お力添えをいただいで成り立っています。KOAは皆様とお近づきになれたことに感謝し、お付き合いの中で学ばせていただきながら、これらすべての主体にとっての企業価値を高めるため、企業活動に取り組んでいます。

企業経営の価値観 「循環・有限・調和・豊かさ」

企業という存在が、過去にないほど大きな影響力を全世界的に、そして地球規模でもつに至った現在、的確な時代認識の上立った経営・企業活動が求められていると私たちは考えます。20世紀は人口爆発に代表されるような「拡大・無限・征服・利便性」といった人類本位のコンセプトの時代であり、そうしたことのために人類のみならず地球上のあらゆる存在が存続の危機を迎えているのではないのでしょうか。そんな時代の切なる声に対して、私たちは「有限」の考えに立ち、人類を生かしてくれている地球環境とそこに生を受けたすべての生きとし生けるものとの調和を図り、拡大から循環、利便性から調和の中での豊かさを求めるべきではないかと考えます。KOAは企業経営の価値観を「循環・有限・調和・豊かさ」に置き、「地球あっての人類、人あっての経営」という空間（場）を、企業活動の中にできる限り設ける努力をしています。さまざまな人々のお縁あってこそKOAの経営が成り立つことを忘れずに、またその人類を生かしてくれている地球との調和を念頭にこれからも企業経営を進めてまいります。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第87期（2014年4月1日から2015年3月31日まで）中間事業報告書をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

まず、9月27日に発生した御嶽山噴火で被災された方々に、心からお見舞いを申し上げます。KOAの本社及び長野県内の主要生産拠点は、御嶽山から数十キロメートルの距離にありますが、幸いなことに生産への影響はありませんでした。しかしながら自然災害の脅威を改めて目の当たりにして、現在進めておりますBCP（事業継続計画）推進のさらなるスピードアップを指示したところ です。

KOAは現在、自動車をはじめ、環境・エネルギー、航空宇宙、医療などの各分野でイノベーションの先に生まれるであろう市場において、求められる技術や製品開発について、お客様とともに今から準備を進める活動を行なっています。

その代表的分野である自動車では現在、三つの方向性が示されています。それは、セーフティ（安全）、コネクト（つながる、接続）、グリーン（環境）です。

一つ目のセーフティ。2013年に日本国内で自動車事故で亡くなられた方は4,373人、けが人は779,660人。世界中では2009年のWHOの推計で、亡くなられた方が約130万人、負傷者に至っては2千万人から5千万人と言われており、2030年には世界の5大死亡原因のひとつになると予測されています。その自動車事故を撲滅するために、各メーカーは自動運転などの技術開発に挑戦しています。

二つ目はコネクト。従来、車に備えられたラジオなどは単なるエンターテインメントのための装置でしたが、今は車載の電子機器が外部とつながり、さまざまな情報をリアルタイムで得ることで、より便利で快適な運転ができるようになってきました。

三つ目はグリーン。排出ガス規制や燃費規制への対応です。近年、欧州では自動車が発生させる電子的ノイズへの対応の強化が求められており、いずれ世界へ広がっていくものと考えられています。実は、これは低燃費化による排出ガス規制強化の影響でもあります。世界中で



ガソリン車やディーゼルエンジン車に対して、ハイブリッド車並かそれ以上の低燃費化が求められています。

低燃費化対策は大きく二つあって、一つ目が、エンジンや車の軽量化と損失低減。二つ目が、エンジン内で燃焼させるガソリンの濃度を薄くすることで消費燃料を削減するという方法です。この希薄化したガソリンを効率良く燃やすためには、従来の点火電圧より高い電圧が必要で、その結果、エンジンから出るノイズが増加することになります。そこに求められているのは、高い雑音防止性能をもつ製品です。そうした製品を私達の保有している要素技術とシミュレーション技術を駆使して開発し、点火装置に採用されています。変化の先の市場において必要とされる製品をお客様と一緒に開発する、この雑音防止製品はその代表例と言えます。

KOAでは2000年代に入り、車載向けを注力分野に定め、車の安全性に直結する製品の性能や信頼性を高める活動を続けてきました。今後もこうした取り組みを継続し、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2014年12月

コーア
KOA株式会社

代表取締役社長 **花形 忠男**

営業の概況

損益に関する状況

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）の世界経済は、米国では企業部門の業績の回復や個人消費の増加、雇用情勢の改善などを背景に緩やかな拡大基調が続きました。欧州では景気回復が足踏みしたものの、アジアでは中国の経済成長率が7%台の安定成長を続けるなど、景気は緩やかに回復してきました。また、我が国経済では消費税増税前の駆け込み需要の反動により個人消費が減少し、景気の押し下げ要因となりましたが、企業収益の改善や設備投資の回復などから全体として緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、日本において増税前の駆け込み需要の反動による需要減少がありました。また、産業機器向けが緩やかに回復してまいりました。また、欧米の自動車向け需要が引き続き増加し、アジアにおいては自動車向け、エアコン・空気清浄機等の家電向けが好調に推移しました。

このような環境のもと、当社グループは品質・信頼性を重視する市場を中心に、高付加価値製品の拡販等の活動を進めた結果、自動車、エアコン等の家電、産業機器向けに売上を伸ばすことができました。また、為替の円安による効果もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は230億67百万円（前年同期比8億67百万円増、3.9%増）となり

ました。

利益面におきましては、前述の売上高増加に加え、引き続きコストダウンに努めてまいりましたことにより、営業利益は19億13百万円（前年同期比4億1百万円増、26.5%増）、経常利益は21億80百万円（前年同期比2億20百万円増、11.2%増）、四半期純利益は14億93百万円（前年同期比1億2百万円増、7.3%増）となりました。

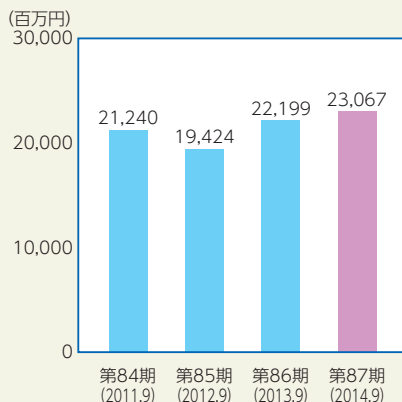
資産に関する状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は664億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ、24億58百万円増加いたしました。主な要因としましては、現金及び預金等の増加によるものであります。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ12億68百万円増加いたしました。主な要因としましては、退職給付に係る負債等の増加によるものであります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の80.2%から79.0%となりました。

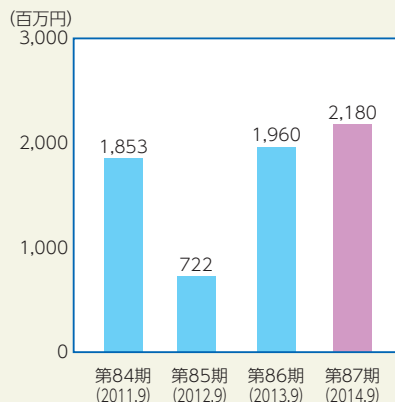
キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フロー27億57百万円、投資活動によるキャッシュ・フロー△10億35百万円、財務活動によるキャッシュ・フロー△4億13百万円となり、現金及び現金同等物の期末残高は163億84百万円となりました。

連結業績の推移

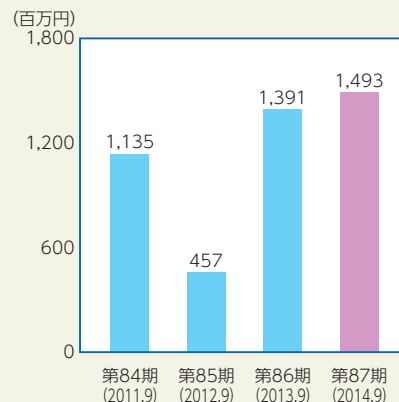
第2四半期累計売上高



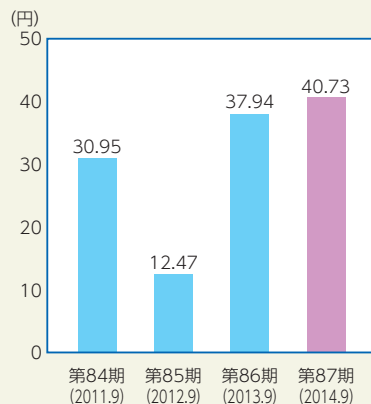
第2四半期累計経常利益



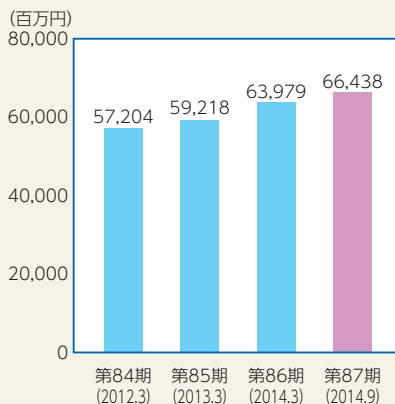
第2四半期累計純利益



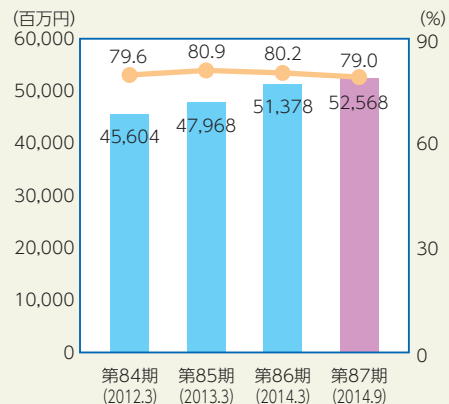
1株当たり第2四半期累計純利益



総資産

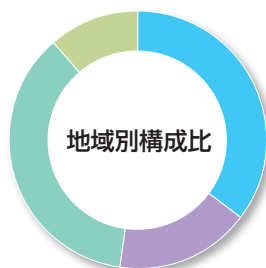
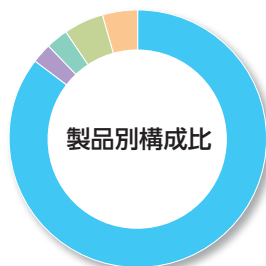


純資産／自己資本比率



連結決算の概要

売上高構成比



四半期連結損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
	自：2014年4月1日 至：2014年9月30日	自：2013年4月1日 至：2013年9月30日
売上高	23,067	22,199
売上原価	16,385	16,265
売上総利益	6,681	5,933
販売費及び一般管理費	4,767	4,421
営業利益	1,913	1,512
営業外収益	514	534
営業外費用	248	87
経常利益	2,180	1,960
特別利益	2	2
特別損失	27	8
税金等調整前四半期純利益	2,155	1,953
法人税等	659	558
少数株主損益調整前 四半期純利益	1,495	1,395
少数株主利益	1	3
四半期純利益	1,493	1,391

四半期連結貸借対照表 (要約)

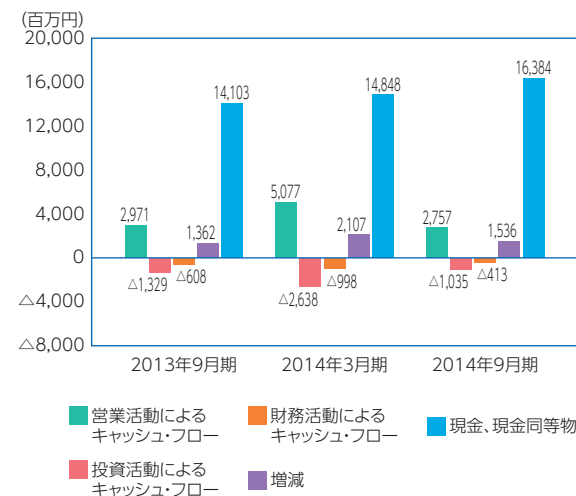
(単位: 百万円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計年度
	2014年9月30日現在	2014年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	37,170	35,091
現金及び預金	17,606	16,018
受取手形及び売掛金	12,325	12,169
有価証券	983	887
たな卸資産	4,699	4,601
その他	1,555	1,414
固定資産	29,267	28,887
有形固定資産	21,955	22,143
無形固定資産	499	495
投資その他の資産	6,812	6,248
資産合計	66,438	63,979
(負債の部)		
流動負債	9,135	8,437
支払手形及び買掛金	4,355	3,943
短期借入金	176	128
その他	4,603	4,364
固定負債	4,734	4,164
退職給付に係る負債	2,215	1,647
その他	2,519	2,517
負債合計	13,869	12,601
(純資産の部)		
株主資本	52,167	51,517
資本金	6,033	6,033
資本剰余金	9,012	9,012
利益剰余金	39,778	39,127
自己株式	△ 2,655	△ 2,655
その他の包括利益累計額	321	△ 212
その他有価証券評価差額金	998	611
為替換算調整勘定	△ 404	△ 504
退職給付に係る調整累計額	△ 272	△ 319
少数株主持分	78	72
純資産合計	52,568	51,378
負債純資産合計	66,438	63,979

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約) (単位: 百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
	自: 2014年4月1日 至: 2014年9月30日	自: 2013年4月1日 至: 2013年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,757	2,971
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,035	△ 1,329
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 413	△ 608
現金及び現金同等物に係る換算差額	228	328
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,536	1,362
現金及び現金同等物の期首残高	14,848	12,741
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,384	14,103

キャッシュ・フローの状況



▼ 詳しい財務情報はWebサイトのこちらで
● ご覧いただけます

KOA IR

検索



「CEATEC JAPAN 2014」に出展しました
2014.10.7(火)～10.11(土)
幕張メッセ(千葉県)

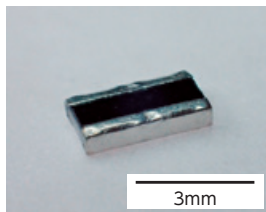


アジア最大級の最先端IT・エレクトロニクス総合展「CEATEC JAPAN 2014」が、10月7日(火)から10月11日(土)までの5日間、千葉県幕張メッセにて開催されました。

KOAブースでは風速センサを応用した「風の見える化」動作展示などKOA製品のアプリケーションをより具体的にした提案活動や産学協創の取り組みの紹介などを行い、昨年以上の方にご来場いただくことができました。「風の見える化」については海外のメディアからも注目され多くの取材を受けました。

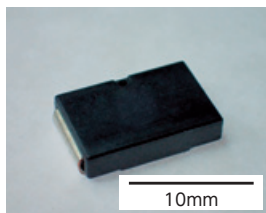
展示内容のご紹介

長辺電極低抵抗チップ抵抗器 **WU73 2B** (新製品)



小型で大電流検出に適した製品です。定格電力を汎用品の2倍の1Wに高めました。また、厚膜タイプでありながら周囲温度による影響を低く抑えることができ、温度変化が大きい環境でも高精度の電流検出が可能です。

大電流検出用金属板抵抗器 **SLN5** (新製品)



従来の定格電力2W品と同一サイズで5Wを実現しました。金属板の電極を採用することでヒートサイクルによるストレスを緩和する構造となっており、大電流検出回路の高密度実装化に貢献します。

産学連携の取り組み

諏訪東京理科大学の田邊研究室が考案した「音声雑音抑圧法」について共同研究を行い、効果を実証するユニットを試作しデモンストレーションを行いました。音声雑音抑圧法は喧騒な環境において雑音を低減させ、音声を聞き取りやすくする技術であり、従来の技術と異なり1つのマイクロフォンで実現しています。この技術を導入することで、例えば、走行中の車のロードノイズを低減し、カーナビゲーションシステムが人の声を認識する精度を高めることなどが可能となります。今後も大学との連携を積極的に進め、新製品・新事業の協創を目指してまいります。



実証実験ユニット

新技術・新製品セミナーの開催

例年開催している出展者セミナーでは、KOAが提案しJEITA/IECが国際規格化を進めている抵抗器の端子部温度規定について、熱設計の最新動向、端子部温度規定の必要性及び実例を交えた具体的な適用方法などを紹介しました。会場は満員となり、皆様の関心の高さがうかがえました。

- 開催日時 2014年10月9日(木) 14:00~15:00
- 講演テーマ **電子機器の最新の熱設計動向**
～表面実装抵抗器の新しい負荷軽減曲線の使い方～
- 講演部門 **ものづくりイニシアティブ 技創リセンター**



「おてんとうさま」活動

環境 マネジメント システム

KOAグループでは、KOAを支えてくださっている人たち（お客様・お取引先様、株主様、社員とその家族、地域社会、地球）との信頼関係の構築を企業の使命と考え、地球との調和を図る「おてんとうさま」活動を展開しています。

「おてんとうさま」は、「お天道様に堂々と胸を張って報告できる活動をしよう」という思いを込めて、ISO14001環境マネジメントシステムにつけた名称です。

各事業所の社会環境活動の取り組み

匠の里（生産拠点）：ギフチョウが舞う環境づくり

匠の里では、1992年の工場設立時より生態系回復の取り組みの一環として、工場周辺の植生回復と長野県の準絶滅危惧種であり飯田市の天然記念物でもある「ギフチョウ」が舞う環境づくりを進めています。

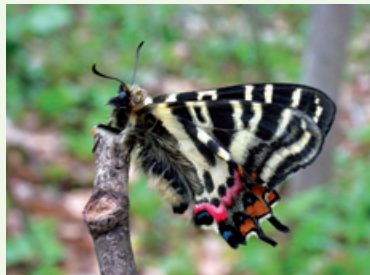
ギフチョウは、桜の開花期に年一回だけ飛ぶ「春の女神」として親しまれ、黄色と黒のコントラストが鮮やかな蝶です。20年ほど前までは、匠の里がある飯田市桐林近辺の里山に多く生息していたそうです。このギフチョウがかつてのように飛び交う環境を構内につくりたいとの思いから、社員の手でコナラ・クヌ

ギの植樹による林づくり、ギフチョウが好むヒメカンアオイ・ウスバサイシンといった植物や、吸蜜植物の植栽を進め、2012年・2013年には、構内でギフチョウの自然産卵と孵化した幼虫が確認されるに至りました。

私たちは、生態系の一員であるという認識のもと、生物多様性を保全する取り組みを進め、豊かな自然の中で貴重な命に触れ合う機会を大切にしていきたいと考えています。



植生が回復した匠の里周辺



ギフチョウの成虫



ヒメカンアオイの葉に
確認された卵

会社概要・株式の状況 (2014年9月30日現在)

会社概要

社名	コーア KOA株式会社 (KOA CORPORATION)
所在地	本社 〒399-4697 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016番地 KOAパインパーク内アースウィング TEL: 0265-70-7171 (代表) (登記上の本店)
創立	長野県伊那市荒井3672番地 1940年3月10日 (昭和15年)
資本金	6,033百万円
事業内容	各種電子部品の開発・製造・販売

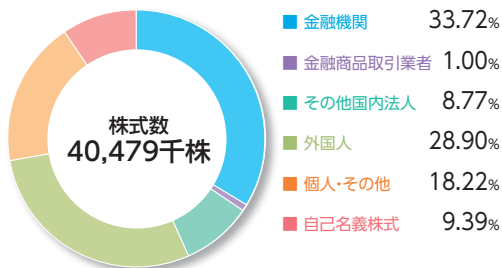
取締役及び監査役

代表取締役会長	<small>むかいやま</small> 向山 孝一
代表取締役社長	花形 忠男
常務取締役	深野 香代子
取締役	中田 典明
取締役	林 琢夫
取締役	百瀬 克彦
取締役	野々村 昭
取締役	山岡 悦二
※ 取締役	マイケル・ジョン・コーバー
常勤監査役	遠藤 和夫
監査役	澤 良一
※ 監査役	<small>かみじろく</small> 上拾石 哲郎
※ 監査役	<small>しげむね</small> 重宗 信行

(注) ※印の取締役及び監査役は社外役員であります。

株式の分布状況

【所有者別持株比率】



株式の状況

発行可能株式総数	150,000,000 株
発行済株式の総数	40,479,724 株
株主総数	6,515 名

上場証券取引所

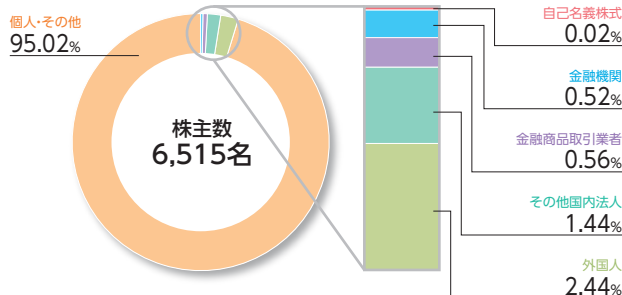
東京証券取引所 市場第一部
名古屋証券取引所 市場第一部

大株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
クレディ スイス アーゲー	3,461,200	9.44
日本生命保険相互会社	2,226,650	6.07
株式会社八十二銀行	1,832,400	4.99
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,452,100	3.96
クレディ スイス アーゲー シンガポール トラスト アカウント フィコンプ ホールディング ピービー	1,279,700	3.49
ピーエヌピーパルパベルスマネージメントホンコンプランチ	1,244,700	3.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,127,900	3.07
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,000,000	2.72
シーピーエスジーバンクジュリアスベアシンガポールプランチ	871,900	2.37
日本電気株式会社	868,333	2.36

(注) 1. 当社は、自己株式3,801,642株を保有しておりますが、上記には記載しておりません。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

【所有者別株主比率】



本社・技術拠点

本 社 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016
KOAパインパーク内アースウイング
〒399-4697 ☎ 0265 (70) 7171
FAX 0265 (70) 7711

経営管理イニシアティブ

経営戦略センター ☎ 0265 (70) 7173
FAX 0265 (70) 7992

総務センター ☎ 0265 (70) 7171
FAX 0265 (70) 7711

人事教育センター ☎ 0265 (70) 7177
FAX 0265 (70) 7711

知的財産センター ☎ 0265 (70) 7179
FAX 0265 (70) 7712

情報システムセンター ☎ 0265 (70) 7275
FAX 0265 (70) 7276

CSR推進センター ☎ 0265 (70) 7065
FAX 0265 (70) 7994

ものづくりイニシアティブ ☎ 0265 (70) 7175
FAX 0265 (70) 7712

伊那事業所 長野県伊那市荒井3672
〒396-8585

品質保証イニシアティブ ☎ 0265 (73) 9156
FAX 0265 (78) 2128

ハローウイング 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016
KOAパインパーク内 〒399-4697

ものづくりイニシアティブ
生産戦略センター ☎ 0265 (79) 1481
FAX 0265 (79) 1409

営業拠点

目 黒 東京都目黒区中根2-15-12
〒152-0031 ☎ 03 (5731) 3820
FAX 03 (5731) 3826

日本営業ビジネスフィールド
営業支援センター ☎ 03 (5731) 3820
FAX 03 (5731) 3826

むさし野工房 東京都府中市緑町2-17-2
〒183-0006 ☎ 042 (336) 5300
FAX 042 (336) 5353

事業構造改革イニシアティブ ☎ 042 (336) 5300
FAX 042 (336) 5353

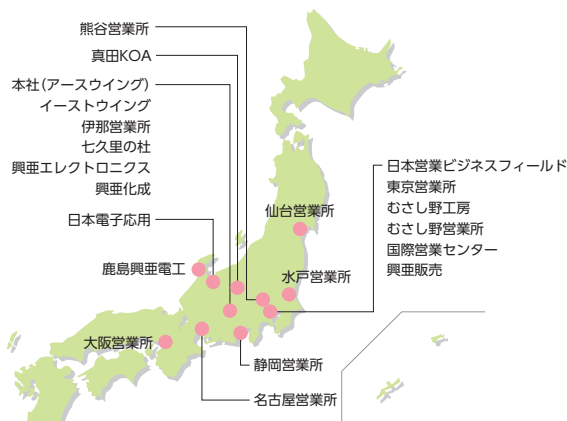
国際営業センター ☎ 042 (336) 5755
FAX 042 (336) 5353

(各営業所)

仙台営業所 仙台市宮城野区榴岡5-12-55NAVISビル5F
〒983-0852 ☎ 022 (292) 3303
FAX 022 (292) 6606

水戸営業所 茨城県ひたちなか市足崎字西原1445-31
〒312-0003 ☎ 029 (273) 4651
FAX 029 (274) 8824

熊谷営業所 埼玉県熊谷市箱田5-4-5
〒360-0014 ☎ 048 (522) 2651
FAX 048 (523) 4338



むさし野営業所 東京都府中市緑町2-17-2
〒183-0006 ☎ 042 (336) 5757
FAX 042 (336) 5353

東京営業所 東京都目黒区中根2-15-12
〒152-0031 ☎ 03 (5731) 3821
FAX 03 (5731) 3827

名古屋営業所 名古屋市長区朝日丘93
〒465-0041 ☎ 052 (774) 2821
FAX 052 (774) 2891

静岡営業所 静岡県駿河区馬淵3-2-25 TKビル5F
〒422-8063 ☎ 054 (282) 5166
FAX 054 (282) 5466

伊那営業所 長野県伊那市荒井3672
〒396-8585 ☎ 0265 (78) 6622
FAX 0265 (78) 5266

大阪営業所 大阪市淀川区西中島7-1-5辰野新大阪ビル6F
〒532-0011 ☎ 06 (6885) 0822
FAX 06 (6885) 6388

生産拠点

イーストウイング 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016
KOAパインパーク内
〒399-4697 ☎ 0265 (79) 9080
FAX 0265 (79) 9079

箕輪工場 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪8633
〒399-4601 ☎ 0265 (70) 5390
FAX 0265 (79) 8980

西山工場 長野県伊那市西箕輪2445
〒399-4501 ☎ 0265 (73) 7166
FAX 0265 (73) 6112

中央工場 長野県上伊那郡南箕輪村5061
〒399-4511 ☎ 0265 (77) 3513
FAX 0265 (72) 4397

匠の里 長野県飯田市桐林2441-1
〒399-2565 ☎ 0265 (26) 7708
FAX 0265 (26) 7732

七久里の社 長野県下伊那郡阿智村春日1088-1
〒395-0301 ☎ 0265 (45) 1711
FAX 0265 (45) 1717

MINOWAウイング 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016
KOAパインパーク内
〒399-4697 ☎ 0265 (79) 8471
FAX 0265 (79) 7079

国内グループ会社

興亜エレクトロニクス株式会社

長野県下伊那郡阿南町西条733 〒399-1504
☎ 0260 (22) 2261 FAX 0260 (22) 3356

興亜販売株式会社

東京都千代田区神田須田1-7-1高橋ビル3F 〒101-0041
☎ 03 (3255) 5521 FAX 03 (3251) 7648

真田KOA株式会社

長野県上田市真田町長5688-6 〒386-2201
☎ 0268 (72) 3770 FAX 0268 (72) 8232

鹿島興亜電工株式会社

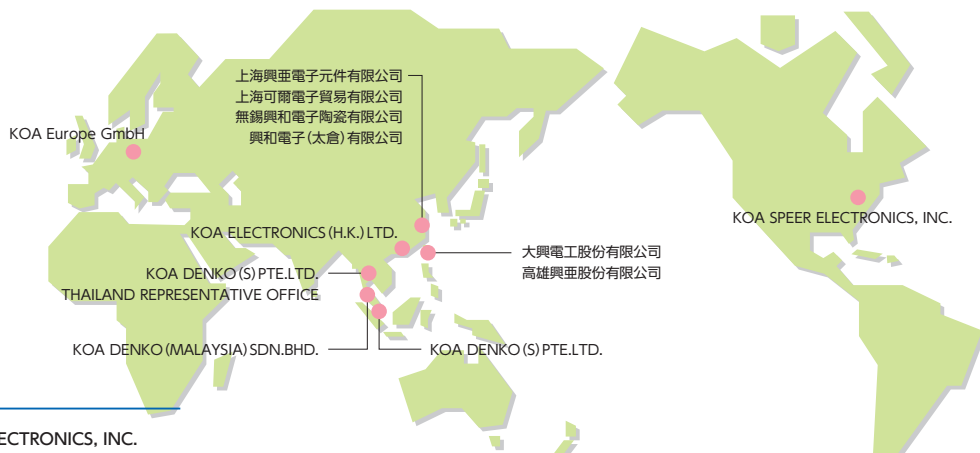
石川県鹿島郡中能登町武部は部11 〒929-1802
☎ 0767 (76) 1111 FAX 0767 (76) 0500

日本電子応用株式会社

富山県砺波市矢木137 〒939-1317
☎ 0763 (33) 5700 FAX 0763 (33) 5755

興亜化成株式会社

長野県伊那市御園180-2 〒396-0022
☎ 0265 (72) 7264 FAX 0265 (76) 0006



海外の拠点

アメリカ/KOA SPEER ELECTRONICS, INC.

199 BOLIVAR DRIVE BRADFORD PA
16701 USA
☎ (1) 814-362-5536
FAX (1) 814-362-8883

ドイツ/KOA Europe GmbH

KADDENBUSCH 6
D-25578 DÄGELING ITZEHOE GERMANY
☎ (49) 4821-89890
FAX (49) 4821-898989

マレーシア/KOA DENKO(MALAYSIA)SDN.BHD.

LOTS 7,8&9 BATU BERENDAM, FTZ
75350 MALACCA, MALAYSIA
☎ (60) 6-2328031
FAX (60) 6-2328030

シンガポール/KOA DENKO(S)PTE.LTD.

72 BENDEMEER ROAD #06-28
LUZERNE SINGAPORE 339941
☎ (65) 63395151
FAX (65) 63398556

タイ/KOA DENKO(S)PTE.LTD.

THAILAND REPRESENTATIVE OFFICE
38 Q.HOUSE CONVENT BLDG.7TH FLOOR
UNIT 7CD,
CONVENT RD.,SILOM, BANGRAK, BANGKOK
10500 THAILAND
☎ (66) 2632-0382
FAX (66) 2632-0903

中国/上海興亞電子元件有限公司

中国上海市漕河泾新興技術開發区桂平路581号
☎ (86) 21-64850723
FAX (86) 21-64852960

中国/上海可爾電子貿易有限公司

中国上海市漕河泾新興技術開發区桂平路581号
☎ (86) 21-64320101
FAX (86) 21-64320083

中国/無錫興和電子陶瓷有限公司

中国江蘇省宜興市和橋鎮西鋤村向山路1号
☎ (86) 510-87871645
FAX (86) 510-87871626

中国/興和電子(太倉)有限公司

中国江蘇省太倉市太倉經濟開發区洛陽東路77号
☎ (86) 512-53561111
FAX (86) 512-53561600

香港/KOA ELECTRONICS(H.K.)LTD.

UNIT 2315, METROPOLIS TOWER, 10
METROPOLIS DRIVE
HUNGHOM, KOWLOON, HONG KONG
☎ (852) 2492-6918
FAX (852) 2492-7398

台湾/大興電工股份有限公司

中華民國台北市南京東路1段34号平安大樓11樓
☎ (886) 2-25214166
FAX (886) 2-25641859

台湾/高雄興亞股份有限公司

中華民國高雄市楠梓加工出口区開發路17之2号
☎ (886) 7-363-4157
FAX (886) 7-363-4543

インフォメーション

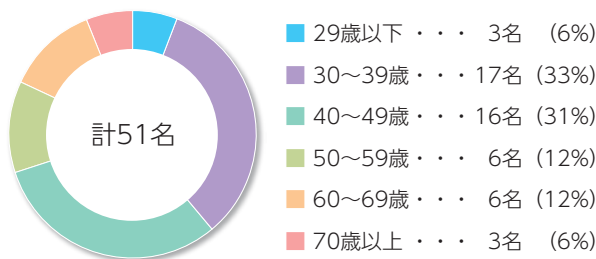
株主様アンケートの結果をご報告します

ありがとうございました

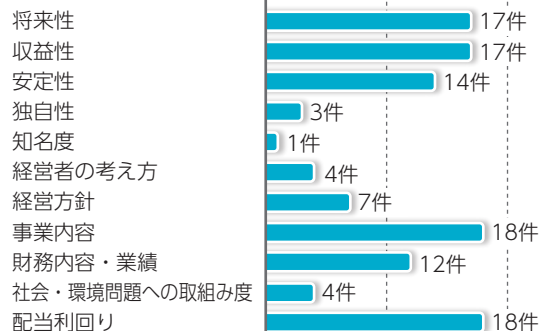
第86期事業報告書において実施させていただきました、株主アンケートにつきましては、多くの株主様からご回答をいただきました。お忙しい中ご協力いただき、心より御礼申し上げます。簡単ではございますが、主な質問項目についてご報告させていただきます。

● アンケートにご回答をいただいた株主の皆様・・・51名 男性92%・女性8%

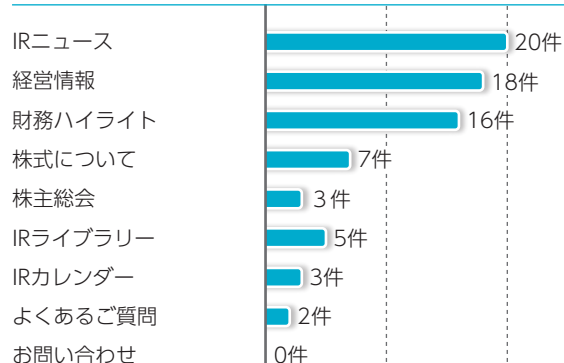
● あなたの年齢をお知らせください。



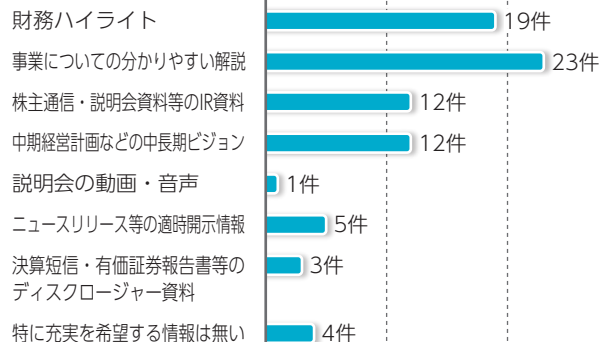
● あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。(複数回答)



● 主にどの情報を利用していますか。(複数回答)



● 充実を希望する情報は何か。(複数回答)



株式の手続きに関するご案内

●特別口座で株式をご所有の株主の皆様へ

株券電子化により、すべての上場会社の株式は、証券会社などの口座管理機関の口座にて電子的に管理されております。株券電子化移行時点で、ご所有の株式を証券保管機構（ほふり）に預託されなかった株主様につきましては、当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に「特別口座」を開設させていただいております。しかしながら、特別口座の株式につきましては、特別口座のままでは売買ができませんので、特別口座から証券会社口座への振替等をお願いいたします。

▶特別口座に記録されているかどうかのご確認方法について

下記、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問い合わせください。

▶特別口座から証券会社口座への振替方法について

特別口座に記録されている株式を市場にて売却される際には、証券口座への振替のお手続きが必要となります。あらかじめ証券会社に株主様の口座を開設いただき、振替申請を行っていただきますようお願いいたします。

※すでに株主様が証券会社に口座をお持ちの場合は「② → ③」の手順のみとなります。



▶証券会社口座への振替以外に、売買を行う方法について（単元未満株式に限る）

当社は単元（100株）未満株式の買取・買増制度を採用しております。特別口座に記録された単元未満株式について当社へ買取または買増請求を行うことができますので、三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。なお、買増請求を行っていただき単元（100株）株式にされても、特別口座では株式の売買ができませんので、証券会社口座を開設され、証券会社に振替えたうえで、単元株式になるようご請求いただくことをおすすめいたします。

※証券会社口座に振替後のお手続きにつきましては、口座を開設された証券会社にご依頼ください。

買取制度

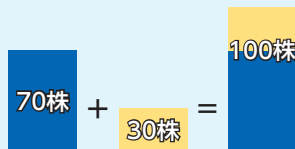
ご所有の単元未満株式を当社が市場価格で買取らせていただく制度です。

買増制度

ご所有の単元未満株式と併せて1単元株式（100株）となるように、株主様に当社から不足分の株式を市場価格でご購入いただく制度です。

《具体例》

株主様が現在70株をご所有の場合、当社を通じて30株をご購入いただき、合計100株とすることができます。



●お問い合わせ先

特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

（連絡先）

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711（通話料無料）

（窓口によるお取り次ぎについて）

三菱UFJ信託銀行 本店及び全国各支店においても受付けております。

年間IRカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
決算発表	● 期末決算			● 第1四半期決算			● 第2四半期決算			● 第3四半期決算		
株主総会	● 招集通知発送			● 定時株主総会								
配当金支払	● 期末配当						● 中間配当					
事業報告書	● 事業報告書発送						● 中間事業報告書発送					

ウェブサイト

詳しいIR情報はこちらからでもご覧いただけます。

www.koanet.co.jp/ir/index.html



IRサイトTOP

最新ニュースをはじめ過去の決算開示書類もご覧いただくことができます。



財務ハイライト



有価証券報告書

■ 決算関連資料のご案内 ■

・事業報告書 ・中間事業報告書 ・決算短信 ・四半期決算短信

【お問い合わせ】

KOA株式会社 経営管理イニシアティブ 総務センター

TEL:0265-70-7171 FAX:0265-70-7711

表紙

「新米を炊く」

絵：今村 由男

長野県生まれ。日本版画協会会員。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月		
基準日	定時株主総会	3月31日	
	期末配当金	3月31日	
	中間配当金	9月30日	
単元株式数	100株		
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)		
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL http://www.koanet.co.jp/index.html ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。		

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記までお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



www.koanet.co.jp